

AC 270 101

Ceiling-mounted ventilation system

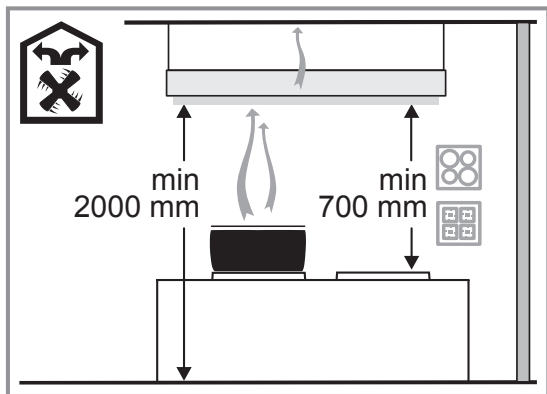
シーリングベンチレーション

設置ガイド

製品を設置する際はこちらの内容を確認してください。

1 安全なスペースについて

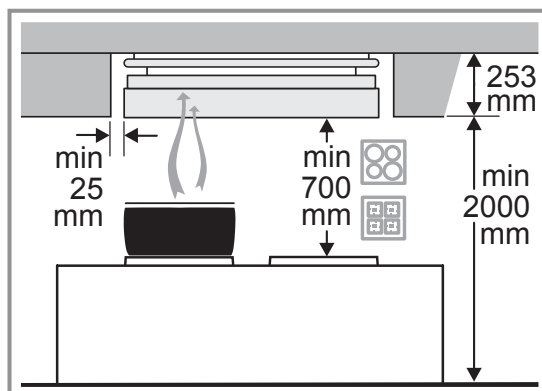
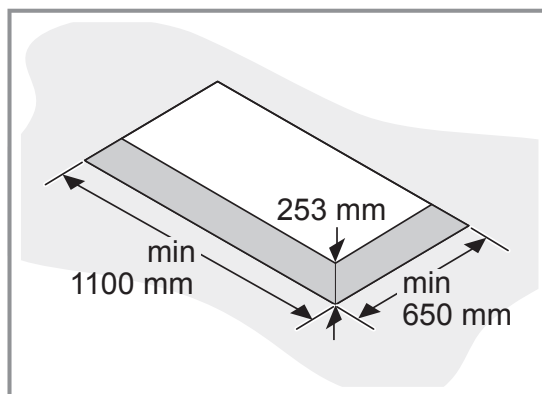
製品には安全な空間を確保してください。



2 埋め込み設置について

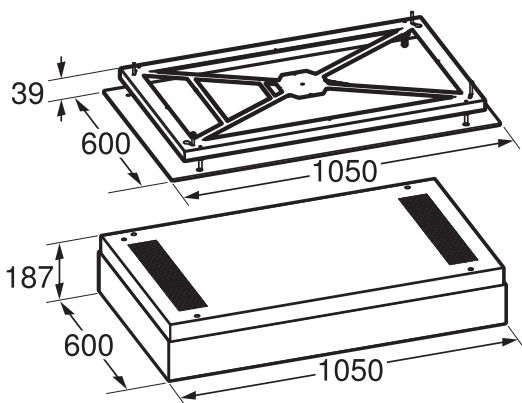
注記：調理方法によっては使用後に残った水分が製品から漏れる場合があります。

そのため、天井のくぼみを防カビ塗料で処理することをおすすめします。



3 寸法図

製品の寸法はこちらでご確認ください。



4 安全に設置いただくために

製品を設置する際は、こちらの安全に関する項目にしたがってください。

⚠ 警告 - 窒息のおそれ

お子様が梱包材を頭からかぶったり、くるまったりすると窒息するおそれがあります。

- ▶ 梱包材はお子様の手が届かないようにしてください。
- ▶ お子様に梱包材で遊ばせないでください。

⚠ 警告 - 火事のおそれ

グリースフィルター内の油汚れは着火するおそれがあります。

- ▶ 熱がこもらないように製品には指定した空間を確保してください。
- ▶ 調理器具の仕様を守ってください。調理器具の設置手順において、必要な空間が異なる場合、常に大きいほうの空間を確保してください。ガスコンロと一緒に使用しなして下さい。

グリスフィルター内の油汚れは着火するおそれがあります。

- ▶ 本製品の近くで炎があがるような調理をしないでください。(例：フランベなど)
- ▶ 火花が飛ぶ危険性があるため、密閉するための取り外しできないカバーがない固形燃料(例：木材、石炭など)を使った暖房器具の近くに本製品を設置しないでください。

⚠ 警告 - 一酸化炭素中毒のおそれ

本製品は燃焼ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

- ▶ ガスコンロには使用しないでください。

本製品は屋外への排気及び換気をおこないませんので、一酸化炭素中毒の原因になります。

- ▶ カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気を行ってください。

⚠ 警告 - けがのおそれ

本製品の内部には尖った部分があります。

- ▶ 厚手の手袋をしてください。

適切に固定されていないと、製品が落ちる危険性があります。

- ▶ 固定する部品はすべてしっかりと固定してください。

製品は軽くありません。

- ▶ 製品を移動させるときは2人で作業してください。
- ▶ 適切な工具や機器のみを使用してください。
- ▶ 製品を石膏ボードや同様の軽量の素材に直接固定しないでください。
- ▶ 適切に設置するには、十分に安定していて、構造条件と製品の重量の両方に適した素材を使用する必要があります。

電気部品や機械部品を改造すると、危険であり誤動作につながります。

- ▶ 電気部品や機械部品を改造しないでください。

ケーブル類で支えられた製品が振動すると、過負荷になり落下する可能性があります。

- ▶ 製品が振動するような設置はしないでください。

製品が振動すると、けがにつながるおそれがあります。

- ▶ 製品が振動するような設置はしないでください。
- ▶ 製品を上下に動かすときは、製品から離れてください。

損傷したケーブルは切れる可能性があります。

- ▶ 上下に動くときにケーブル類が破損した、または異音がある場合は製品を使用しないでください。

注意!

コードの損傷、またはコードを巻き取るバネが破損したとき。

- ▶ 製品を使用しないでください。

警告 - やけどのおそれ

⚠ ルーターカバーをあけるとときにコンロにあるものが転倒すると、やけどにつながります。

- ▶ フィルターカバーをあける前にコンロを片付けてください。

⚠ 警告 - けがのおそれ

フィルターカバーが外れることがあります。

- ▶ フィルターカバーはゆっくり開けてください。
- ▶ フィルターカバーを開けたあと、外れないことを確認してから手を離してください。
- ▶ フィルターカバーはゆっくり閉めてください。

ヒンジを開閉する際にけがをするおそれがあります。

- ▶ ヒンジから手を離してください。

⚠ 警告 - 感電のおそれ

製品内部のとがった部品により、配線が傷つくことがあります。

- ▶ 配線をねじったりひっかけたりしないでください。

製品や電源コードが破損していると危険です。

- ▶ 破損した製品は使用しないでください。
- ▶ 電源コードを引っ張って抜かないでください。必ずプラグをもってコンセントから抜いてください。
- ▶ 本製品や電源コードが破損した場合は、すぐに電源コードを抜くか、ブレーカーを落としてください。
- ▶ アフターサービスに連絡してください。

誤った修理は危険です。

- ▶ 修理ができるのは、適切な研修を受けた弊社のアフターサービスエンジニアのみです。
- ▶ 修理には純正の部品のみを使用してください。
- ▶ 電源コードが破損した場合は、必ず専門の業者に交換を依頼してください。

誤って設置すると危険です。

- ▶ 製品は定格銘板に記載の仕様に基づいてのみ接続および操作してください。
- ▶ 製品には正しく取り付けられたアース付きのソケットを使用して、交流で電源を接続してください。
- ▶ 家庭用電気設備の保護導体システムは正しく設置されている必要があります。
- ▶ 製品に外部スイッチデバイスを設置しないでください。(例：タイマーやリモコンなど)
- ▶ 製品を設置するときは、電源コードの電源プラグに手が届く必要があります。自由に取り外しができない場合は、CAT IIIの条件および設置規則にしたがって、常時電源に全極遮断スイッチを設置する必要があります。
- ▶ 製品を設置するときは電源コードに引っかかりや損傷がないことを確認してください。

注意!

ケーブルがからまっていると製品が破損する可能性があります。

- ▶ 製品の内部でケーブルが巻き付かないようにケーブルクランプを使用してしっかり固定してください。

5 設置環境について

- 製品はキッチンの天井または安定した吊り天井に設置してください。
- 追加のアクセサリを取り付けるときは同封されている取り付け手順にしたがってください。
- 推奨される天井高は3.50mまでです。
- コンロから離れすぎると調理中の蒸気を吸い込みづらくなります。推奨される最適な距離は最長で1500mmです。
- レンジフードの幅は最小でもコンロの幅と同等の必要があります。
- 蒸気を最適に感知するには製品をコンロの中心に設置する必要があります。
- ケーブルを固定するときは、フレームカバーと製品の上端の最大距離が1.20mであることを確認してください。

6 電気配線について

安全に配線するには次の手順にしたがってください。

⚠ 警告 - 感電のおそれ

製品をいつでも電源から遮断できるようにしておく必要があります。製品は正しく取り付けられたコンセントにのみ接続してください。

- ▶ 主電源のプラグは設置後も手の届くところにある必要があります。
- ▶ 取り外しができない場合は、CAT IIIの条件および設置規則にしたがって、全極遮断スイッチを常時電源設備に設置する必要があります。
- ▶ 常設の電源設備は電気技師のみが配線できます。製品の電源回路には漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。

製品内部のとがった部品により、配線が傷つくことがあります。

- ▶ 配線をねじったりひっかけたりしないでください。
- 接続に関する情報は定格銘板に記載されています。
- ケーブルの長さは約1.30mです。
- 本製品はEC干渉抑制規制に準拠しています。
- 製品は感電保護クラス1に対応しています。したがって、保護アース接続のみを使用する必要があります。
- 設置作業中は製品を電源に接続しないでください。
- 設置作業中は接触しないようにしてください。
- プラグなしでの配線には資格が必要です。管轄の電力会社が定める要件にしたがう必要があります。

7 概要

設置中はこれらの設置概要にしたがってください。

- 設置について、現在の建築規制、管轄の電力およびガス供給業者の規定をまもってください。
- 排気について、建築基準法などの法的な規制を遵守する必要があります。
- 製品の保守のために、製品はあつかいやすい場所に設置してください。
- 設置作業中、製品の表面部分にきずがつかないようにご注意ください。
- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をしてください。
- 製品は約80kgあります。作業は2人以上で行うようにしてください。
- 感電および故障の原因になりますので、浴室などの湿気の多い場所に設置しないでください。
- けがをすることがありますので、運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないでください。
- 製品は室内循環フードですので、屋外へ排気をしません。IHクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。
- においの除去率は90%になります。においを完全に除去するためには、別の換気設備が必要です。
- 火災・故障の原因になりますので、電源は専用コンセント及びブレーカーを設けてください。
- 室内循環フード下部に湯沸器を取り付けしないでください。また横方向50cm以上離して取り付けてください。

8 設置について

天井を確認する

- 1 天井の水平と、耐荷重を確認してください。
製品の最大重量は80kgです。吊り天井の石膏ボード(または同等の軽量素材)に製品を直接取り付けないでください。
- 2 トランス設置用開口を開けてください。
- 3 吊りボルトを取り付けてください。
(注意：ボルトの長さは取付面から15mmに調整してください。)
- 4 しっかりと安定していて、構造条件と製品重量に応じて調整された固定材を使用して設置してください。
- 5 他製品の既存のケーブルの切り出し領域を確認してください。

天井の準備

- 1 傷をつけないようコンロをカバーしてください。
- 2 コンロの位置を基準にフレームの位置を決め、中央の位置を決めます。
- 3 開口部等に電気配線、ガス管、水道管がないことを確認してください。

必要設備工事

電気：単相 200V・15A アース付コンセント

設置を始める前に

◆設置個所の補強などについて

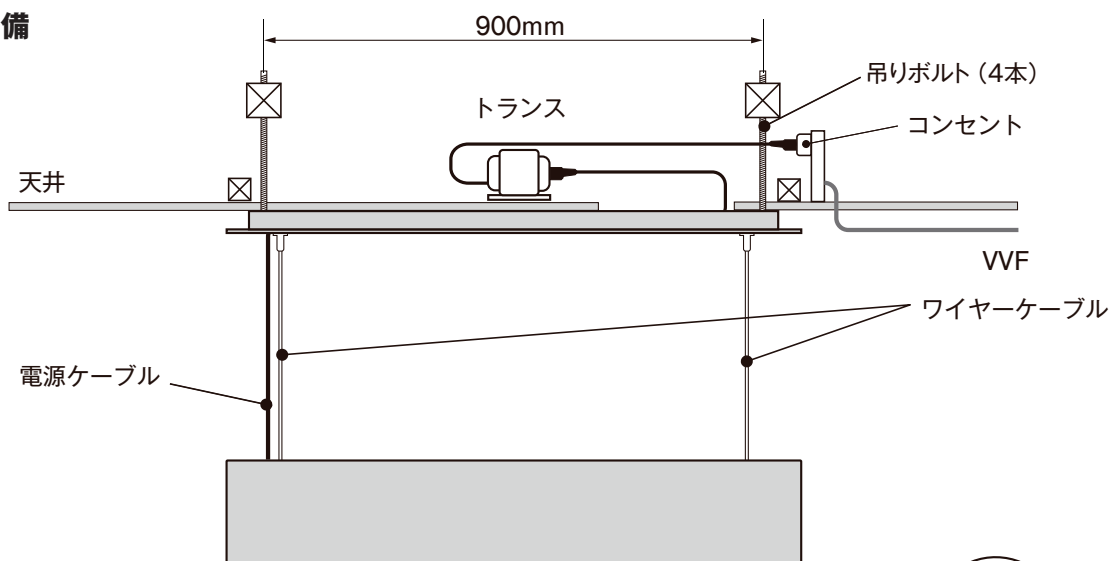
POINT

- フードの重量 (80kg) を支えるため、フード吊り下げ金具の取付け部分は天井補強を行なってください。
- 取り付けにはアンカーボルトを使用することをお勧めします。
- ビス取付けの際は天井裏に電線や水道管などがいないことを確認してください。

POINT

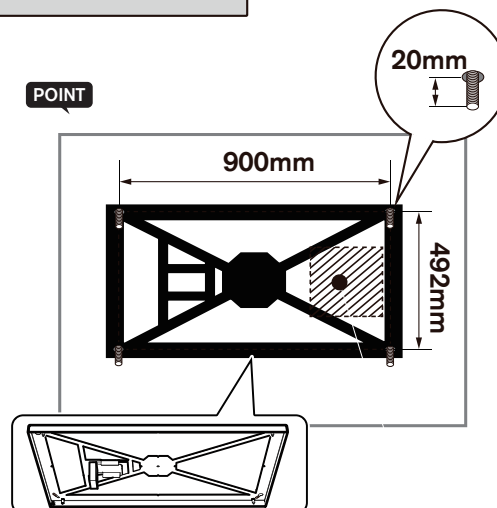
- フードの設置や電気工事を行なう際は電源を切ってください。
- 補強のない天井パネルには取付けないでください。

◆設置前の準備



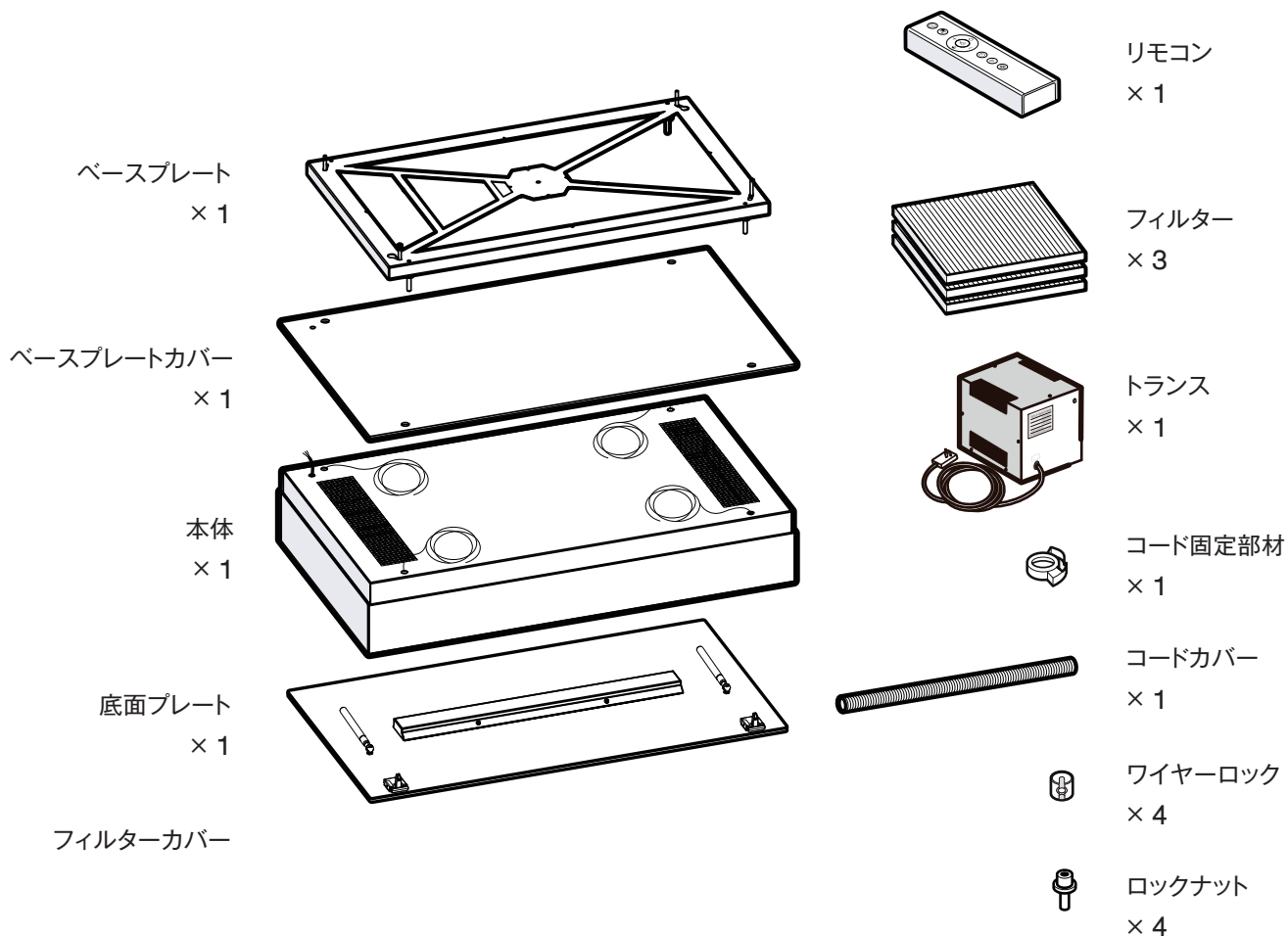
POINT

トランスを設置用開口
(250×250mm 以上)の穴を設ける



同梱品

開梱後は輸送時の損傷がないか確認してください。



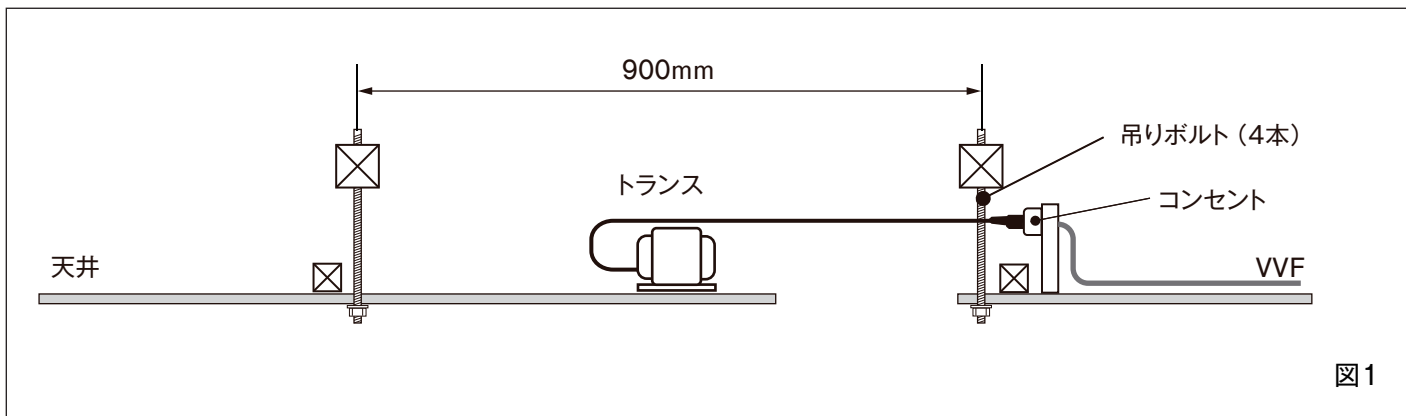
トランスとフレームの取り付け

POINT

◆トランスの取り付け

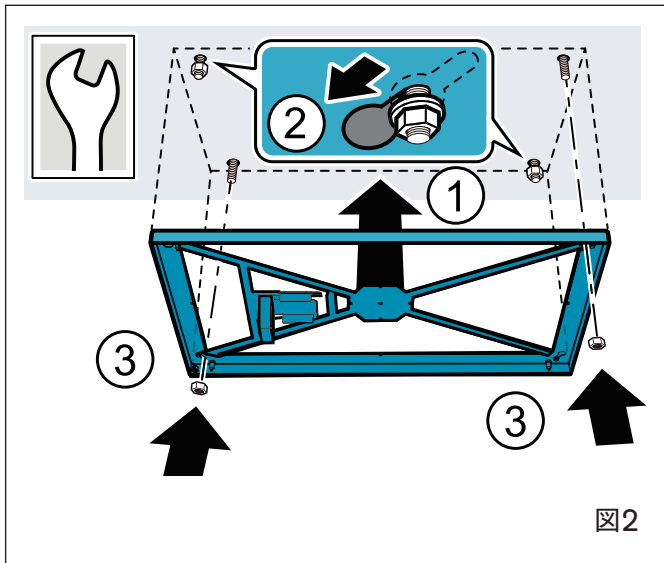
1 天井開口部よりトランスを図1の様に設置してプラグをコンセントを接続してください。

注意! 必ずブレーカーを切って作業してください。



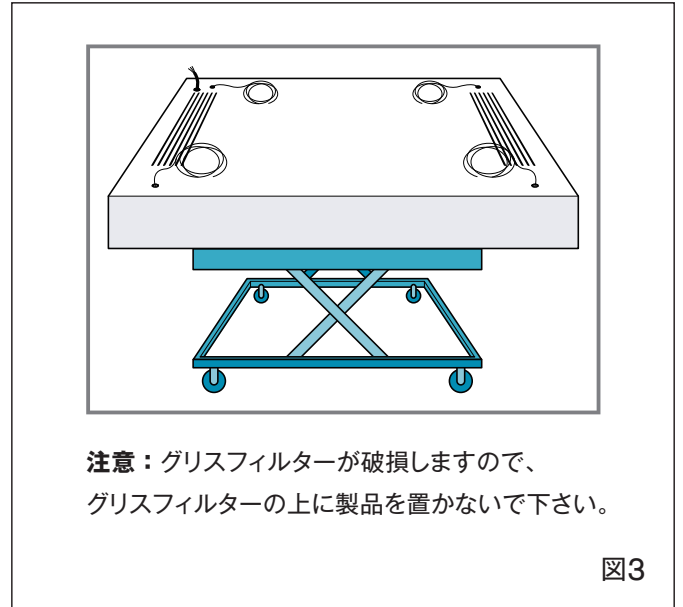
◆フレームの取り付け

- 1 図2の様にボルトとナットでフレームを取り付けてください。
- 2 フレームのプラグをトランスに接続してください。



製品接続の準備

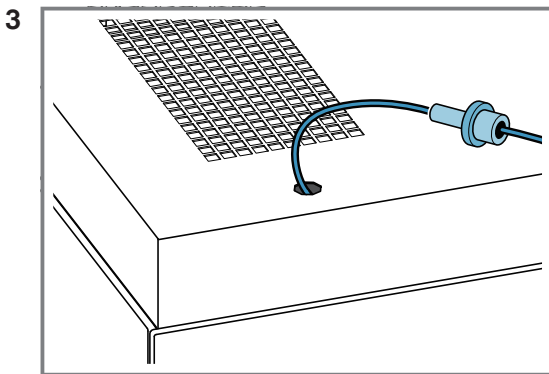
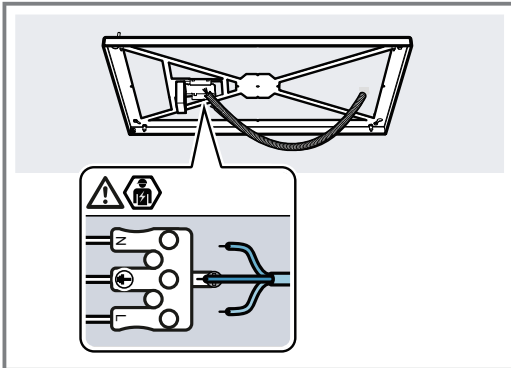
- 1 リフトテーブル、または同様の器具を製品の下に配置します。
(注意：リフトテーブルはコンロの上に置かないでください。)
- 2 フレーム部分が乗る様に製品をリフトテーブルに乗せます。
(注意：フレーム以外に荷重がかからない様にしてください。)



- 3 コンロと製品の下端が少なくとも700mm離れる様にしてください。
ワイヤーケーブルを固定するときは、フレームカバーと製品の上端の最大距離が1.2mであることを確認してください。

製品の接続

- 1 保護チューブから配線を出してください。
必要であれば保護チューブを短くしてください。
- POINT**
- 2 ターミナルプラグに配線を差し込んでください。
コンセントプラグをトランスと接続してください。

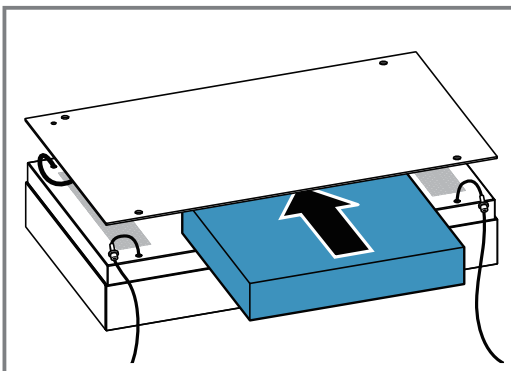


図のように4本のワイヤーそれぞれにロックナットに通してください。

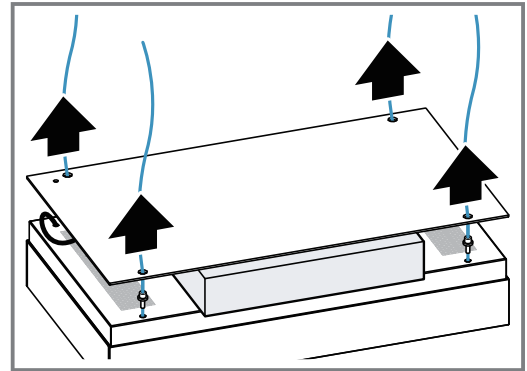
注意!

製品のリミットスイッチが破損する場合がありますので、本体の開口部には挿入しないでください。

- 4 傷がつかないように製品にスペーサーを置き、その上にフレームカバーを置きます。



- 5 フレームカバーの開口部に4本のワイヤーケーブルを通します。

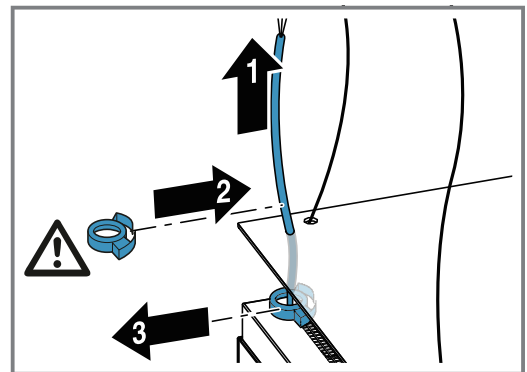


- 6 **注意!**

ワイヤーがからまっていると製品が破損する可能性があります。

- 7 ケーブルクランプをフレームカバーの開口部に通し、電源ケーブルを引き出します。

- 8 出荷時に取り付けられているケーブルクランプをはずします。ケーブルクランプをフレームカバーの上に取り付けます。

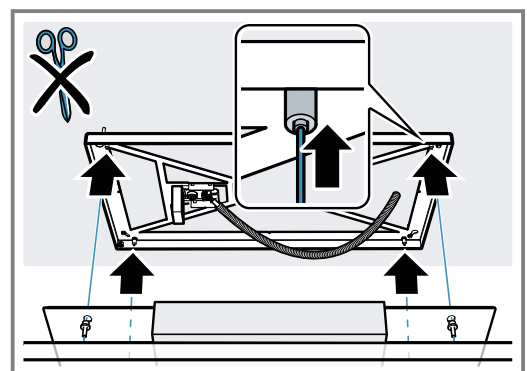


POINT

▶ 製品の内部で本体の電源ケーブルが巻き取られないようにケーブルクランプを使用してしっかり固定してください。

※このクランプがないと電源ケーブルの巻き取りテンションがターミナル接続部に伝わりケーブルが抜けてしまう場合がありますので、必ず接続部にテンションがかからない場所にクランプを取り付けてください。

- 9 4本のワイヤーケーブルをケーブルテンショナーに通し、テンションが等しくなるよう調整します。

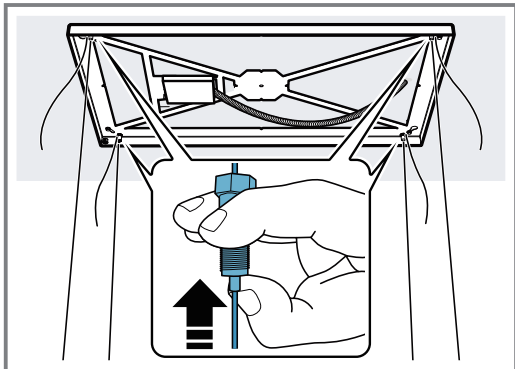


ワイヤーケーブルを切らないでください。

POINT

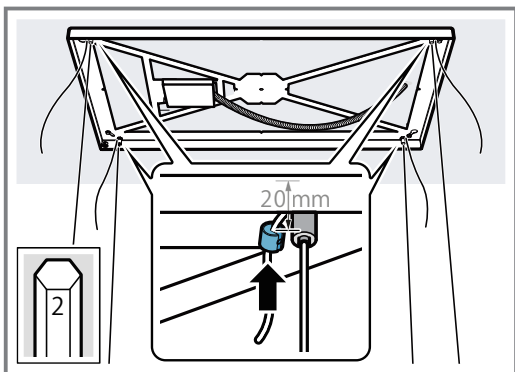
- 10 **ワイヤーケーブルを再調整します。**
機器に負荷がかからないようにして、ケーブルテンショナーを緩め、ワイヤーケーブルを押し上げます。

※ケーブルの長さでベンチレーションをどこまで降ろせるかが決まります。必ずコンロ部分と干渉しない長さに調整してください。

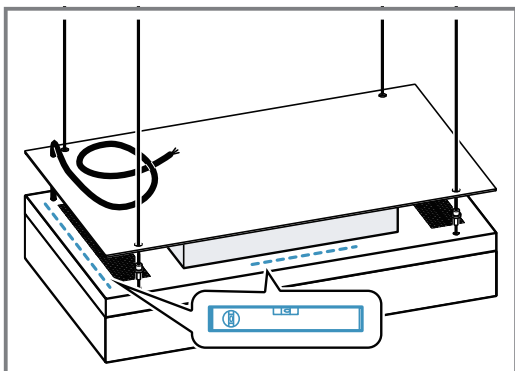


POINT

- 11 **付属の4つのワイヤーロックに、それぞれのワイヤーケーブルを通します。そして2mmの六角レンチを使い、ケーブルテンショナーの約20mm手前にワイヤーロックを固定します。**



- 12 **水準器を使用して、機器のレベルを測定し水平を確認して下さい。水平が取れていない場合は、水平が取れるように、再度ワイヤーケーブルの調整を行なってください。**



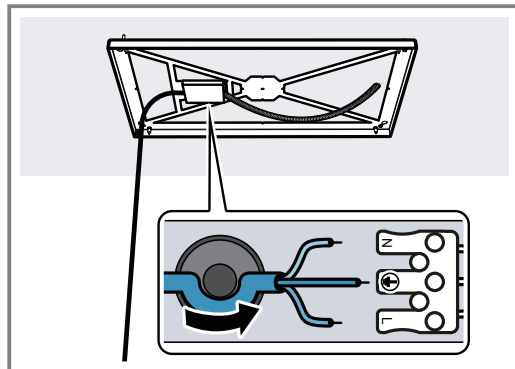
- 13 **製品の保護フィルムをはがします。**
 製品のリミットスイッチが損傷しないように、ケーブルまわりの保護フィルムを慎重にはがします。
- 14 **リフトテーブルまたは適切な器具を製品下より取り外します。**
 ✓ 製品は天井からケーブルにぶらさがった状態です。

- 15 **製品の電源ケーブルを完全に引き出し、電源ケーブルをターミナル部に差し込み電源ケーブルを電源ケーブルクランプに固定して下さい。**

- 16 **注意!**
 電源ケーブルがからまっていると製品が破損する可能性があります。

POINT

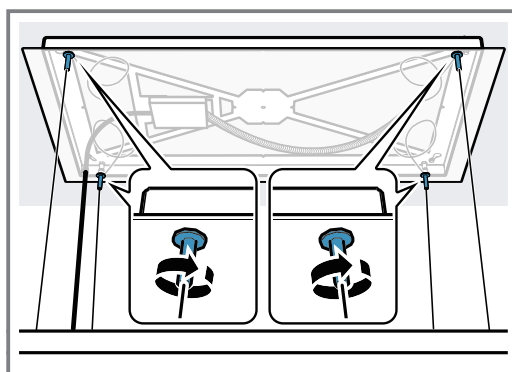
- ▶ **巻き取られてしまわないように電源ケーブルクランプにしっかり固定してください。**



- 17 **ケーブルカバーを閉じます。**
 18 **フレームカバーを慎重に持ち上げます。**
 19 **ケーブルの端をフレームカバーの裏に置きます。**

POINT

- 20 **4つのロックナットでフレームカバーをしっかりと締めます。**



フレームカバーを損傷しないよう工具は使わないでください。

- 21 **製品からスペーサーを取り外します。**

POINT

- 22 **初期基準動作を行うためブレーカーを入れ電気を送ります。**
本体を昇降させるために通電させる必要があります。
- 23 **初期基準動作を始めるにはリモコンの / ボタンを押してください。**
 初期基準動作が始まり、ワイヤーの巻き取りが始まります。
 ✓ 製品が上に移動します。
- 24 **製品が可能な限り上に移動したら、リモコンの \ ボタンを押します。**
 ✓ 製品が下に移動します。
 ✓ 製品が下まで移動し終わると、初期基準動作は終了です。

フィルターカバーの取り付け

⚠ 警告 - けがのおそれ

本製品の内部には尖った部分があります。

- ▶ 保護手袋を着用してください。

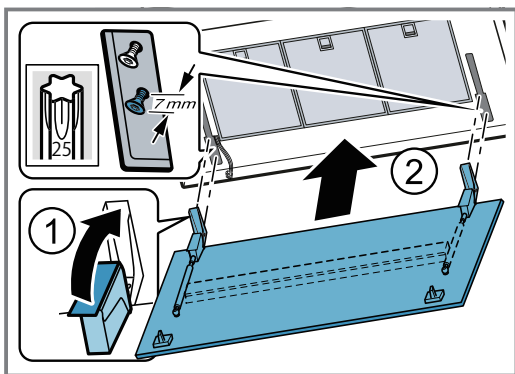
ヒンジを開閉する際にけがをするおそれがあります。

- ▶ ヒンジから手を離してください。

1 リモコンの \wedge ボタンと \vee ボタンを使って製品の高さを調整します。

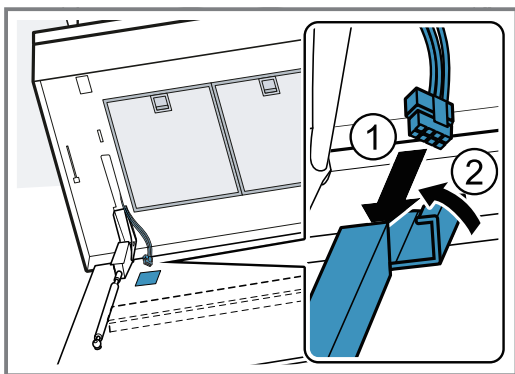
初期基準動作が終了していない場合は、製品は自動的に上または下に移動します。

2 フィルターカバーのヒンジを開けます。



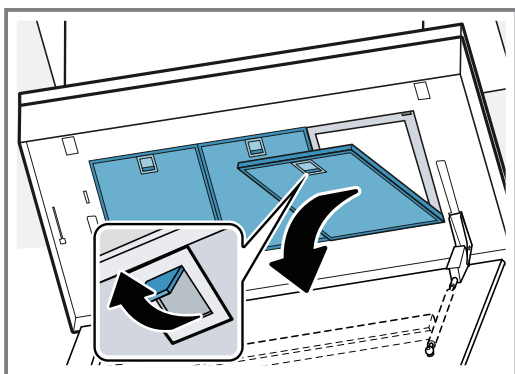
3 ヒンジのネジを締めます。

4 照明用のケーブルを接続します。



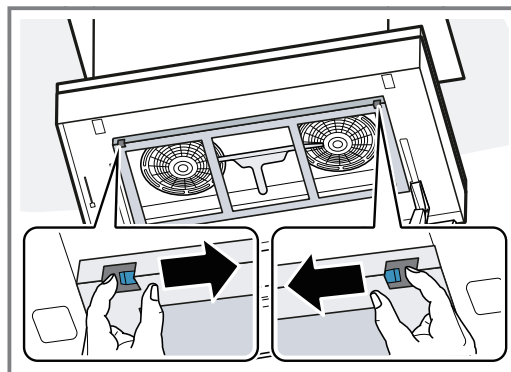
5 ケーブルダクトのカバーを閉じます。

6 グリスフィルターを取り外します。



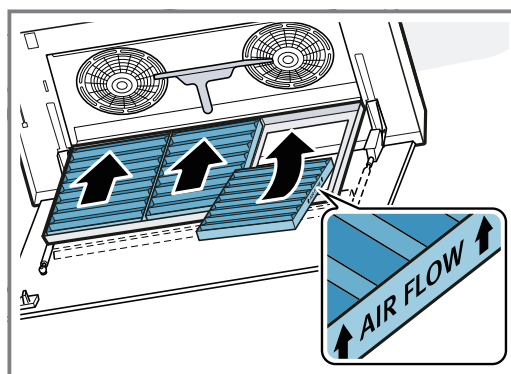
破損しないようグリスフィルターを折り曲げないでください。

7 臭気フィルターカートリッジを開きます。



8 臭気フィルターを開梱します。

9 臭気フィルターを挿入します。



10 グリスフィルターを取り付けます。

破損しないようグリスフィルターを折り曲げないでください。

11 フィルターカバーをしっかりと閉じてください。

製品の取り外し

⚠ 警告 - けがのおそれ

本製品の内部には尖った部分があります。

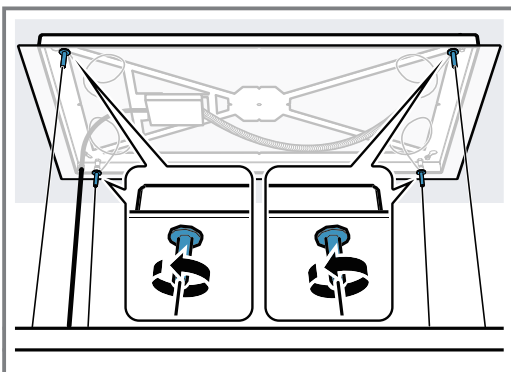
- ▶ 保護手袋を着用してください。

- 1 傷をつけないようコンロをカバーしてください。
- 2 リモコンの ∇ ボタンを押してください。
製品が下に移動します。
- 3 リフトテーブルまたは適切な器具を製品の下に置きます。
リフトテーブルをコンロの上に置かないでください。
- 4 製品のケーブルが緩むまでリフトテーブルを上を動かします。

注記：

- フレーム部分が乗るように製品をリフトテーブルに乗せます。
- グリスフィルターが破損しますので、グリスフィルターの上に製品を置かないでください。

- 5 トランスより電源プラグを取り外します。
- 6 傷がつかないように製品の上にスペーサーを置きます。
- 7 フレームカバーの4つのロックナットを慎重に緩めます。

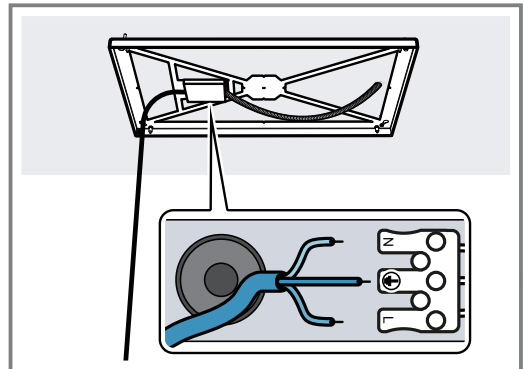


注記：工具を使わないでください。

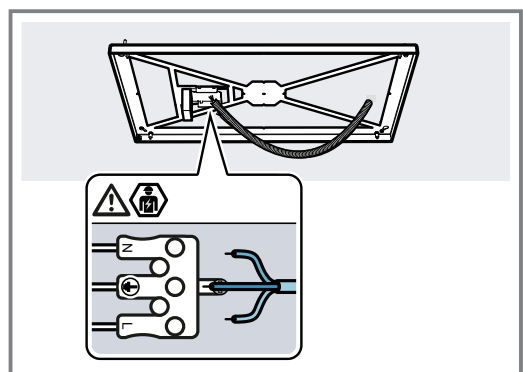
リミットスイッチが破損することがありますので、
ロックナットを開口部に落とさないように注意してください。

- 8 フレームカバーを慎重におろします。
- 9 ドライバーを使って側面のケーブルカバーを開きます。

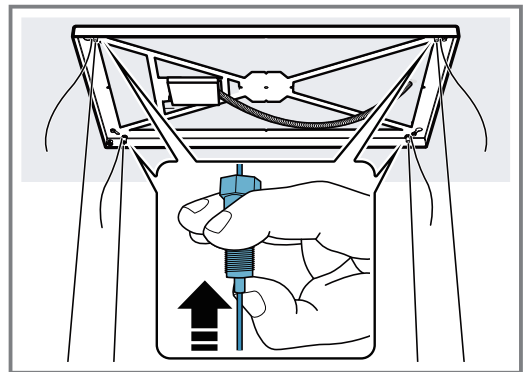
- 10 製品の電源ケーブルをターミナルプラグより取り外します。



- 11 電源ケーブルをターミナルより取り外してください。



- 12 4つのケーブルクランプを緩めます。
- 13 ケーブルテンショナーを開き、ワイヤーケーブルを引き出します。



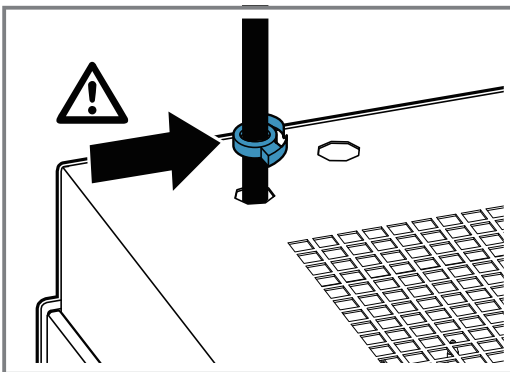
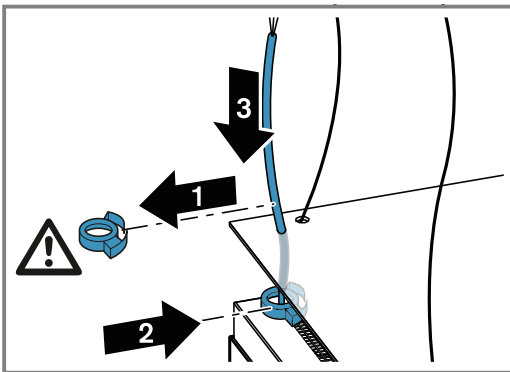
- 14 フレームカバーからワイヤーケーブルを外します。

15 注意!

電源ケーブルがからまっていると製品が破損する可能性があります。

- ▶ 製品の内部で電源ケーブルが巻き取られないようにケーブルクランプを使用してしっかり固定してください。

製品のケーブルをフレームカバーの開口部に通し、ケーブルクランプを使って本体の上で固定します。



16 フレームのナットを対角線上に2つ外します。

17 もう一方の対角線上の2つのナットを緩めます。

18 フレームを動かして取り外します。

注記：再度設置する場合は製品を工場出荷時の状態にリセットする必要があります。(取扱説明書 P9「工場出荷時の設定にリセットする」参照)

ガゲナウ・ビルトインキッチン機器
総輸入発売元
株式会社 N・TEC

本社
〒651-1411
兵庫県西宮市山口町名来2-23-7
TEL. 078-904-3101
FAX. 078-904-3102

東京支店
〒106-0044
東京都港区東麻布1-8-4
TEL. 03-5545-3877
FAX. 03-5545-3878

ショールーム オックス
〒659-0092
兵庫県芦屋市大原町6-16
TEL. 0797-32-3751
FAX. 0797-32-3781

東京ショールーム
〒106-0044
東京都港区東麻布1-8-4
TEL. 03-5545-3877
FAX. 03-5545-3878

www.ntec.tv

GAGGENAU